

広報広聴事業

市民との意見交換会 実施報告書



—目次—

1. はじめに
2. 開催概要
3. 説明内容（当日資料）
4. グループワークでのご意見等
5. アンケート集計結果
6. 最後に

1. はじめに

令和7年10月28日、悪天候にも関わらず多くの皆様にご出席いただき、「市民との意見交換会」を開催することができました。今回、市議会初の「議員定数等検討委員会」との共催が実現し、議員定数の検討をはじめ、なり手不足解消などこれからの「議会の在り方」について市民の皆様からご意見を頂きました。

当日は、前半に概要説明を行い、後半はワールドカフェ方式による意見交換を実施。「市民と議員」が一緒に考える貴重な機会となりました。引き続き岩見沢市議会では「開かれた議会」、「身近な議会」を目指し広報広聴活動のさらなる充実・強化に取り組んでまいりますので、今後ともご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

岩見沢市議会広報広聴委員会

委員長	坂井秋子	委員	新井優也	木村光宏	野尻 清	河合清秀
副委員長	松本一郎		坂井照美	猪口満雅	山田靖廣	

本意見交換会は、広報広聴委員会と議員定数等検討委員会の合同により、喫緊の課題である「議員定数」「議員報酬」「議員のなり手不足」を主なテーマとして開催しました。事前に議会情報を共有した上で、市民の皆様との意見交換を行った結果、多様で示唆に富んだご意見を数多く頂戴することができました。ご多用の中、ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。また終了後には動画配信を行い、当日参加が叶わなかった方々からもアンケートを通じて貴重なご意見を頂戴しました。結果には多様な傾向が見られ、そのいずれも市民の皆様の声として重く受け止めております。

今後も議会内にとどまらず、市民の皆様の意向を踏まえた議論と活動に努めてまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

岩見沢市議会議員定数等検討委員会

委員長	平野義文	委員	枝廣晴基	武田貞行	宮下 透
副委員長	太田博之		日向清一	猪口満雅	上田久司

2. 開催概要

【開催場所・日時】

岩見沢市役所4階 委員会室

令和7年10月28日（木） 18時30分～20時30分

【事業内容】

議員定数等検討委員会が設置され、「議員定数、議員報酬、議員のなり手不足解消」等の課題が検討される中、市民の皆さまとも多様な意見の交換をする場を設けるため、広報広聴委員会と議員定数等検討委員会で意見交換会を共催しました。

実施内容としては、「議員定数・議員報酬・議員のなり手不足解消」をテーマに、議員定数等検討委員会より概要説明をした後、ワールドカフェ方式で意見交換を実施。最後にテーブルごとに結果の発表を行い、多様な意見を拝聴しました。

また、意見交換会の当日の様子を撮影、議員定数等の趣旨説明及び各テーブルの発表がわかるよう編集、YouTubeで公開、その上で市民向けWebアンケートを実施いたしました。

【来場者数】

31名

【アンケート回答者数】

当 日：26件

Web：87件

【動画配信】

メイン会場の様子は市議会YouTubeページに公開しています。ぜひご覧ください。

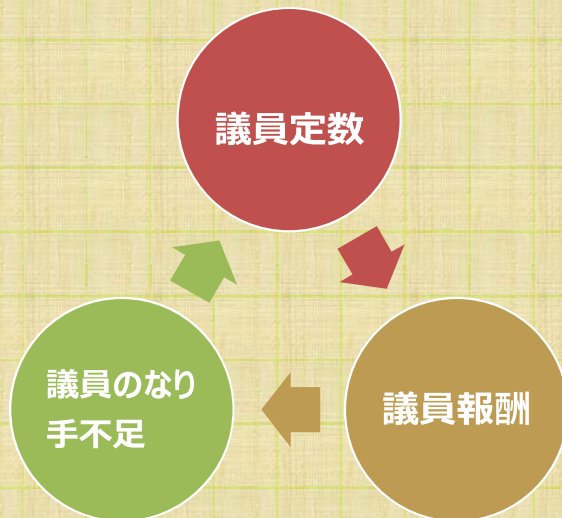


3. 説明内容（当日資料）

意見交換の時間
(情報共有)

【テーマについて】
岩見沢市議会
議員定数等検討委員会
委員長 平野 義文

本日のテーマ



この3つは別々に見えて実はつながっている

① 議員定数の現状と思考の視点

多様性の確保の必要性

現在の岩見沢市議会の定数は22名
これが多いのか少ないのか、適正なのか？

社会は真っ暗闇で一部分だけ触ること
のできる巨大な象みたいなもの

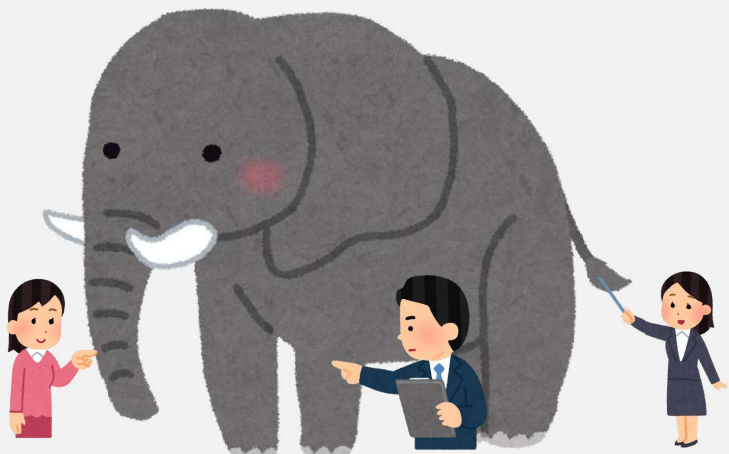


① 議員定数の現状と思考の視点

多様性の確保の必要性

社会は真っ暗闇で一部分だけ触ることのできる巨大な象みたいなもの

例えば真っ暗闇で自分の触った部分しかわからなくても、他の人と情報共有（議論）していけば全体像が見えてくるかも！また、事前に予備知識（自己研鑽）があれば、もしかしてこれは象の一部なんじゃないか？と想像ができる。

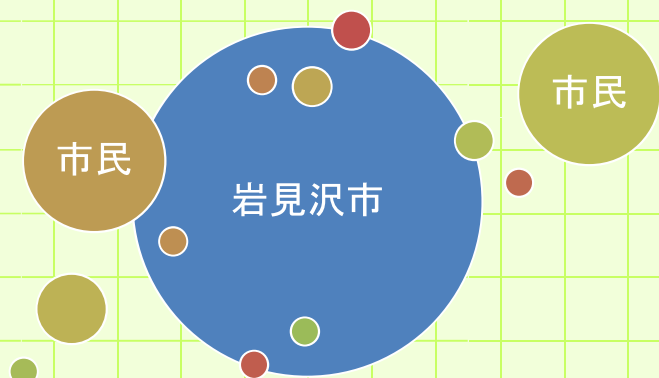
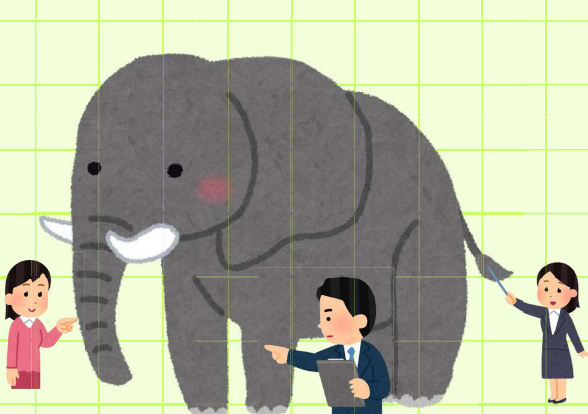


① 議員定数の現状と思考の視点

多様性の確保の必要性

同じ日本人、同じ岩見沢市民でも、人それぞれ見えているもの、満足していること、困っていることは違う。

例えば、議会での一般質問や委員会質疑においても、議員22名のそれぞれ視点が異なることがわかる。



市政に高齢者、若者、女性、子育て世代、障がい当事者、などなど幅広い層が議会に参画する意義

岩見沢の議員22名は多い？少ない？

現状の確認

(人口：R7.6末現在 条例定数：R7.7.1現在)

岩見沢市	人口	行政面積	議員定数	議員一人当たり人口	議員一人当たり面積
	73,312人	481.02Km ²	22人	3,332人	21.9Km ²

【一例】元関西学院大学 林宜嗣氏の議員定数の研究結果

- ①議員定数は、人口、人口の二乗、面積で81.8%が決まる。
- ②議員定数は、人口が多くなれば多くなる。
- ③しかし、大きくなる程度はだんだん小さくなる。
- ④議員定数は、市域面積が大きくなるほど多くなる。

標準的な議員定数計算式

= 14.78

+ 0.0846 × (人口(千人))

- 0.0000655 × (人口(千人))²

+ 0.0061 × (面積 (km²))



24名

自由度修正済み決定係数 = 0.818

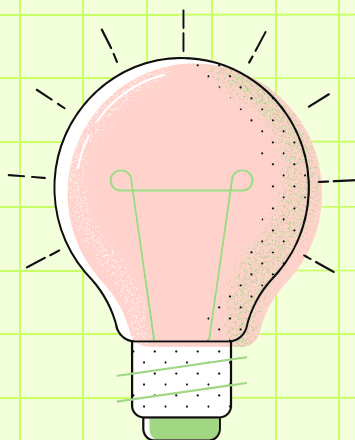
議員一人当たり人口
道内34市中
12番目に多い
(札幌市を除く)

最少は歌志内市315人
最大は旭川市9,225人
平均は2,796人
(札幌市を除く)

議員一人当たり面積
道内34市中
19番目に広い
(札幌市を除く)

最大は夕張市95.4Km²
最小は室蘭市4.1Km²
平均は29.2Km²
(札幌市を除く)

定数削減の気運と懸念



1) 人口が減少しているから議員も減らすべき？

- ⇒社会課題が増加の一途を辿る中、議員の役割は増えている。
- ⇒議員定数が減ると新陳代謝が鈍り、多様性の確保への懸念。
- ⇒地方自治の監視力（チェック機能）低下が懸念される。

2) 政治不信の高まり？

- ⇒議員の顔が見えない、何をしているかわからない。
- ⇒議員定数が減ると、益々議員が遠い存在になる懸念。
- ⇒定数の削減が質の向上に直結しない懸念。

3) 厳しい財政状況を鑑みて議会コストの削減？

- ⇒市全体の財政と議会費比率の適正化（後述）
- ⇒コスト削減がチェック機能の低下につながる懸念。

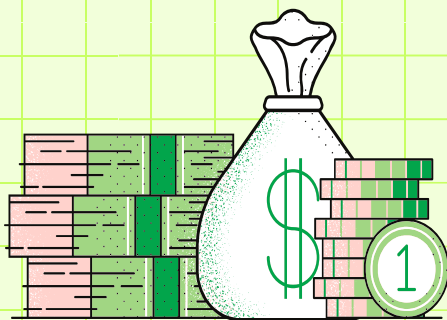
財政的視点

現状の確認

《議会運営に必要な予算》
(例)議員報酬、議会事務局職員
人件費、議員の調査研究に係る費
用、議会だより等々

岩見沢市	人口	R7年度一般会計	議会費	一般会計比	市民一人当たり 議会費
	73,312人	48,100,000千円	261,626千円	0.54%	3,569円

(人口：R7.6末現在)



一般会計予算比率
道内34市中
13番目に低い
(札幌市を除く)

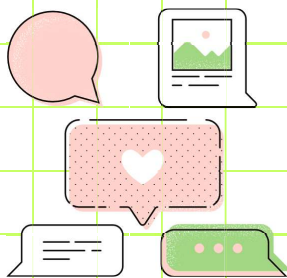
最低は釧路市0.28%
最高は歌志内市1.26%
平均は0.63%
(札幌市を除く)

市民一人当たり議会費
道内34市中
12番目に低い
(札幌市を除く)

最高は歌志内市27,265円
最低は函館市1,966円
平均は6,269円
(札幌市を除く)

①議員定数の現状と思考の視点

岩見沢市議会 議員定数に関する 【現状認識】



■現状の定数22名は多いのか？少ないのか？

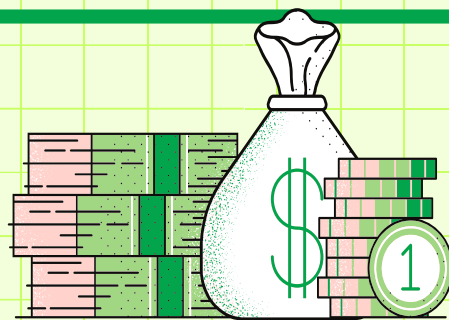
- ◇(一例)元関西学院大学 林宜嗣氏の研究結果では24名
- ◇議員一人当たり人口 道内34市中12番目
(平均よりやや多い⇒市民の声がやや届きにくい)
- ◇議員一人当たり面積 道内34市中19番目
(平均よりやや狭い⇒活動行政範囲はやや狭い)

■市一般会計や市民一人当たり議会費はどうか？

- ◇一般会計議会費率 道内34市中13番目
(平均よりやや低い⇒やや少ない予算で活動している)
- ◇市民一人当たり議会費 道内34市中12番目
(平均よりやや低い⇒市民負担がやや少ない)

※すべて札幌市を除く

②議員報酬について



岩見沢市議会議員報酬（※議長・副議長を除く）

議員報酬 384,000円×12ヶ月 = 4,608,000円

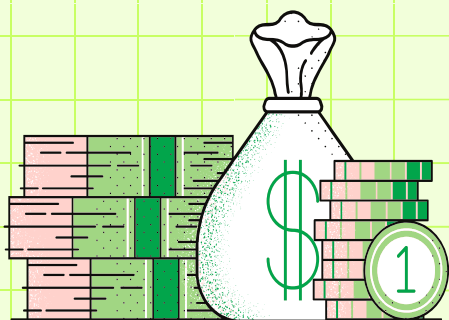
期末手当 1,015,680円×2回 = 2,031,360円

期末手当の額は、議員報酬月額及び議員報酬月額に100分の15を
乗じて得た額の合計額に、100分の230を乗じて得た額

年額 6,639,360円

②議員報酬について

年額 6,639,360円



道内34市中 9番目に高い

最高 旭川市約905万円

最低 夕張市約260万円

平均約616万円

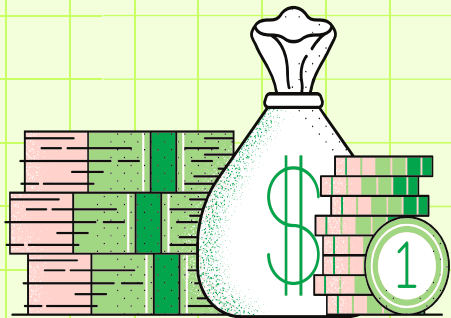
（平均よりやや高い）

※札幌市を除く

②函館市	8,874,000
③釧路市	8,295,700
④帯広市	8,178,000
⑤苫小牧市	8,072,250
⑥小樽市	7,726,320
⑦北見市	7,482,000
⑧室蘭市	7,175,350
⑨岩見沢市	6,639,360
⑩千歳市	6,612,375
⑪江別市	6,492,150
⑫網走市	6,482,800
⑬石狩市	6,264,100
⑭恵庭市	6,219,600
⑮紋別市	6,183,000
⑯稚内市	6,137,950
⑰伊達市	6,016,920
⑱北斗市	6,011,250
⑲北広島市	5,874,710
⑳滝川市	5,781,600
㉑美唄市	5,547,525
㉒深川市	5,508,750

②議員報酬について

年額 6,639,360円



岩見沢市職員であれば、
50代前半 係長職
40代後半 課長職
ぐらいの金額

②議員報酬の実情について

【求人条件】

職種：地方議員（4年契約 選挙制度あり）

報酬：月給38万4,000円（期末手当あり）

経費：政務活動費1万円／月（会派へ算入）
あらゆる活動は報酬から捻出

勤務体系：裁量労働（※夜間休日対応多）

福利厚生：健康保険、厚生年金、雇用保険なし
（いわゆる三法）はありませんので自己責任で

昇給：なし

手当：なし

退職金：なし

国民健康保険は最大額、長期保証がないので専業議員だとローンを組むのも難しい。元来が兼業想定？

やればやるほど、お金も時間も持ち出しの多い仕事ですが、やりがいに溢れています。ぜひ老若男女問わず応募してください！

求人募集

市民のための多様で優秀な議員を募集しています



③議員のなり手不足

岩見沢市議会議員選挙はある程度遡っても無投票の事例はない。
しかし、下記データを見ると一定の傾向が見える。

平成27年統一地方選挙

出馬26名
定数22名

年代	出馬	当選	落選
20代	2人	1人	1人
30代	2人	1人	1人
40代	3人	2人	1人
50代	6人	5人	1人
60代	8人	8人	-
70代	5人	5人	-

平成31年統一地方選挙

出馬23名
定数22名

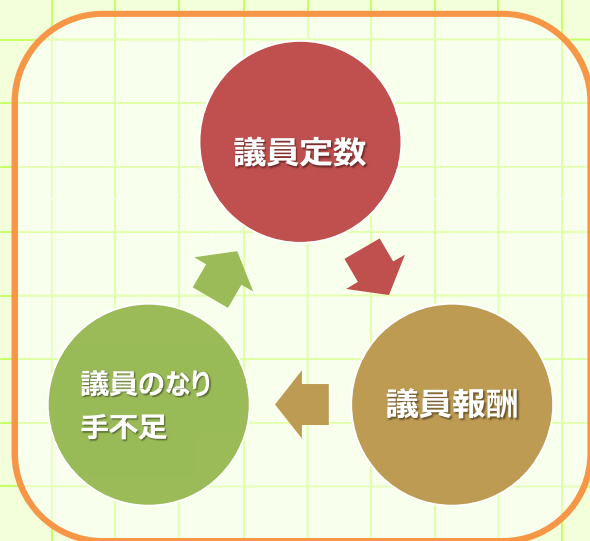
年代	出馬	当選	落選
20代	-	-	-
30代	1人	-	1人
40代	3人	3人	-
50代	6人	6人	-
60代	9人	9人	-
70代	4人	4人	-

令和5年統一地方選挙

出馬28名
定数22名

年代	出馬	当選	落選
20代	1人	1人	-
30代	2人	1人	1人
40代	4人	2人	2人
50代	5人	4人	1人
60代	14人	12人	2人
70代	2人	2人	-

本日の対話への導入



議会は多様性の確保が重要。過去の傾向から定数削減は現職有利となり、新たな立候補者には狭き門となり、挑戦を阻害する可能性が否定できない？

どんな人に議員になってもらいたいのか？

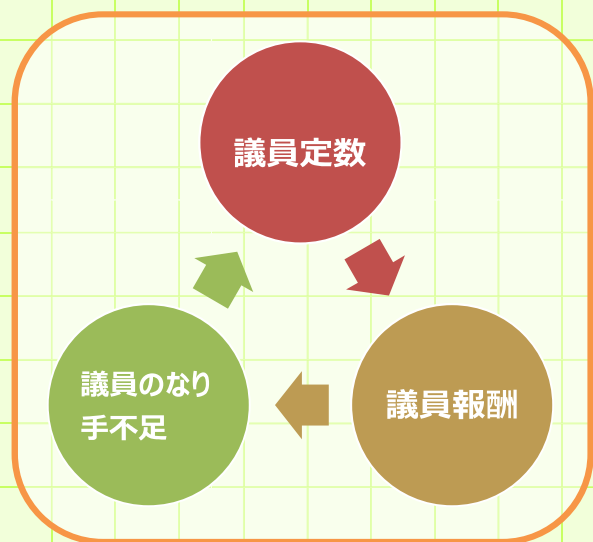
議員報酬は、現役世代が現在の仕事を投げうって生活していけるものか？もしくは両立できるのか？

適切な報酬や活動環境とは？

多様な人が議員として役割を果たしてみたいと思うために大事なことは？

どのような取り組みや工夫が必要か？

本日の対話への導入

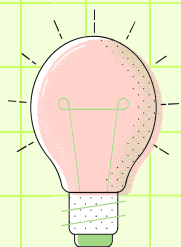


今日のテーマはこの3つの要素を軸に展開します。

次回改選期以降の岩見沢市議会をどうつくるのか。例えば、立候補する人、積極的に候補者を応援する人、有権者として選挙で選ぶ人、etc.・・・

どんな岩見沢市議会を目指すのか、ぜひ意見交換をしていきたいと思います。

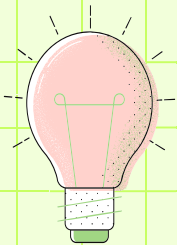
ひとつめの問い 15min



岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていほしいと思いますか？

例えば、どんな属性？（どの世代の代弁者？性別？様々な職種・経験を持つひと？どんな専門性を持っている人？高い倫理観や責任感の強い人、人柄、アイデアマン、行動力、対話力、連携力、etc.・・・）思いつくままに対話しながら紙に書いてみてください。

ふたつめの問い 15min

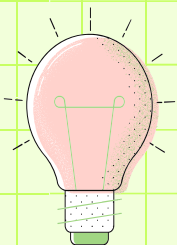


先程の問い：岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていますほしいと思いますか？を踏まえて。

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

今の環境はそれを叶える環境になっている？例えば、報酬は？活動環境・社会のサポート？立候補要件？あなたが議員になるとしたらどんな待遇？きっと同じテーブルでもみんな違った意見を持っているのでは？対話をしながら、その要点を紙に記録していきましょう。

みつめめの問い 15min

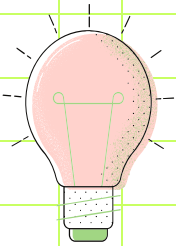


多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どのような取り組みや工夫が必要だと思いますか？

これまでのふたつの問いの対話をベースに、自由に対話し、紙に記していきましょう。

全体共有

ハーベスト（収穫）



※各テーブルのホストを中心に「出てきた意見のエッセンス」を3分で発表します。

※テーブル1から順に発表しますので、次のテーブルはあらかじめ前方で待機してください。

4. グループワークでのご意見等

ご意見等は紙面の都合上、一部抜粋しているほか、
一部加筆・訂正させていただいております。

テーブル1

岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていほしいと思いますか？

- ・若い人（30・40代）
- ・行動力のある人
- ・やる気があり変える気持ちのある人
- ・先見性のある考え方ができる人
- ・提案力、アイデア力のある人
- ・岩見沢愛のある人
- ・報酬目当てではない人

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

- ・地域の代表としてどう地域にフィードバックしているのか？
- ・報酬は600万でガソリン代を別途支給
- ・議員報酬に対する活動が見合っているのか？
- ・報酬は優秀な人ほど上げた方が良いのでは？
- ・議会に出席した時間に基づく報酬制度
- ・報酬を減額するのなら定数を増やしては？

多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どの様な取り組みや工夫が必要だと思いますか？

- ・議員が話を聞いてくれ、何か改善したという経験があれば。キャリアデザインの提示
- ・女性枠・年代枠（20代・30代）の一部設定
- ・関心のある方向けの議員塾を開設
- ・議員の仕事がさほど認知されていないから選択肢に入らない。情報の提供、公開をすると良いのではないか。

テーブル2

岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていほしいと思いますか？

- ・各職業（業種）の代表者
- ・人のために動ける人
- ・意見を吸い上げられる人
- ・質問をきっちり出来る人

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

- ・社会保障を充実させるべきである
- ・ダブルワークをしやすい環境
- ・家族を養える十分な報酬額

多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どの様な取り組みや工夫が必要だと思いますか？

- ・小中高に議員が出前授業
- ・議員の仕事ややりがいを中学生に伝える
- ・議員にダブルワークはしてほしくないが、報酬を下げて議員数を増やすのも良いのではない
か

テーブル3

岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていほしいと思いますか？

- ・ 行動力のある人、人と自然を大切にする人
- ・ 高い能力、活動実績がある人、バイタリティある人
- ・ フットワークの良さと緊急時の行動力、多様性と寛大な人
- ・ 人口増加と一緒に考えてくれる人

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

- ・ 報酬は高いが、家族手当があっても仕事は変わらない、報酬だけでいい
- ・ 政務活動費が少ない、せめて月 10 万円
- ・ 政務活動費と報酬のバランス
- ・ 子育て世代のサポート
- ・ 働きながらできる議員活動のしくみ

多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どの様な取り組みや工夫が必要だと思いますか？

- ・ 主権者共育の年代拡大、大人にも開催して欲しい
- ・ 選挙広報大きくして欲しい
- ・ 報酬を上げる
- ・ ネットで候補者を見られる動画（政見放送のような）
- ・ 選挙にかかる補助金があれば若者も出やすい
- ・ 有権者の意識向上

テーブル4

岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていほしいと思いますか？

- ・ヘコたれない人、前向きな人、発信力のある人、岩見沢を好きな人、コミュニケーション力のある人、クリーンな人、住民の希望を聞いてくれる人、福祉に強い人、弱者の側に立てる人、若い人に希望を見せられる人、フットワークの軽い人など

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

- ・年金の付与
- ・報酬を増やす

多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どの様な取り組みや工夫が必要だと思いますか？

- ・議員塾をしては
- ・供託金を下げる
- ・1000万円くらいないとなり手がないのでは
- ・ポイント制にして活動している人には上げてもいいのでは、誰が評価するかという問題はあるが
- ・議員の魅力を学校にも話にきてほしい

テーブル5

岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていほしいと思いますか？

- ・ より市民の意見を伝えられる人
- ・ 積極的に市民と話を聞いてくれる人
- ・ 多少個性がある人も必要
- ・ 多様なニーズに対応できる人
- ・ 今はもとより未来を創造できる人

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

- ・ 市議会も条例がつくれる立場を与えるべき
- ・ 子育て中の方、ご家族が要介護の方などのためにオンラインで参加できる議会
- ・ 報酬は現状維持が望ましい

多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どの様な取り組みや工夫が必要だと思いますか？

- ・ 子どもの声を実現することで、未来の議員の確保につながる
- ・ 当選しやすい環境作り
- ・ メリットが見えた方がいい

テーブル6

岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていほしいと思いますか？

- ・主婦
- ・若年層
- ・教育者
- ・市職員 OB
- ・他業種

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

- ・報酬については上げて良いのでは

多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どの様な取り組みや工夫が必要だと思いますか？

- ・Wワークの推進
- ・議員になったら何ができるのか、また「やりがい」についても、市民に伝える必要がある

テーブル7

岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていたほしいと思いますか？

- ・立候補に男性女性に関係なく、なるべき人が議員になるべき
- ・条例の一つでも作れる議員が必要
- ・市内の現状をよく把握できる人材

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

- ・議員を職業として確立させるには報酬を上げるべき
- ・現状の報酬でもいい

多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どの様な取り組みや工夫が必要だと思いますか？

- ・定年制を設けた方がいい

テーブル8

岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていほしいと思いますか？

- ・若い人、女性
- ・他の市、町を知っているリターン人材
- ・長い年数岩見沢に住んでいる方
- ・各地域の代表
- ・外に発信してくれる人
- ・医療職、介護職等専門的知見を持つ人

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

- ・市政、議会等政治、活動への関心向上
- ・報酬、活動費の増加・保障の強化

多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どの様な取り組みや工夫が必要だと思いますか？

- ・市民へ議員の活動内容を知ってもらう広報活動の強化
- ・議員に政策秘書の様な人材(サポーター)を配置して政策活動を強化。そのサポーターが次の議員候補となる。(サポーターの費用は政務活動費を充てる)

テーブル9

岩見沢の議会には、どんな人たちが議員として集まっていほしいと思いますか？

- ・ 多様な世代、男女比率の向上
- ・ 特に行動力、改革力、多様な専門分野、外部とのパイプを持っている人

そのために必要な報酬や議員活動をするための環境はどのような形が望ましいでしょうか？

- ・ 会議開始時間の弾力化(夜間会議も含め)
- ・ オンライン会議の活用
- ・ 一般の方が政治について学ぶ機会の創出
- ・ 国に対し三法が該当になるよう求める

多様な市民が『議員になってみたい』と思えるようにするには、どの様な取り組みや工夫が必要だと思いますか？

- ・ 任期を3期等に決めて多選をなくす
- ・ 各議員個々で行っている情報発信を議会でまとめて発信

5. アンケート集計結果

●アンケート回答者数

回答方法	参加者数	回答者数
会場へ参加（岩見沢市役所）	31名	26名
WEBアンケート	－	87名

●WEBアンケート回答期間

令和7年11月5日（水）～令和7年11月30日（日）

■当日参加者による回答の集計

【1】現状の議員定数についてどうお考えですか？		
増やすべきである	3	12%
現状維持でよい	11	42%
削減すべきである	7	27%
その他	5	19%

【2】議員定数を変更することで、議会活動や市政にどのような影響があると思いますか？		
議員が増え、より多くの市民の意見が反映されやすくなる	4	15%
議員数が変わっても、議会活動の本質的な変化はない	12	46%
議員が減り、一人あたりの負担が増す	3	12%
その他	7	27%

【3】あなたは現状の議員報酬（月額報酬や期末手当など）についてどうお考えですか？		
増額すべきである	6	23%
現状維持でよい	11	42%
減額すべきである	1	4%
その他	8	31%

【4】議員報酬のあり方として、特に重要視すべき点は何だと思いますか？		
専門性・職務の複雑さに見合った適正な水準であること	2	8%
市民の感覚からかけ離れていない水準であること	9	35%
優秀な人材確保につながる水準であること	10	38%
その他	5	19%

【５】議員のなり手不足の原因として、あなたが最も大きいと考えるものは何ですか？		
活動の多忙さ・拘束時間の長さ	1	4%
報酬が見合っていないこと	1	4%
選挙活動へのハードルの高さ（家族理解、費用、知名度など）	7	27%
議会活動や仕事内容が市民に十分に知らされていないこと	11	42%
その他	6	23%

【６】議員のなり手不足を解消するために、最も優先して取り組むべきだと思うことは何ですか？		
報酬や活動費の見直しによる経済的負担の軽減	2	8%
オンライン化の推進などによる議会活動の効率化・多様化	5	19%
若者や女性など多様な層に向けた議会活動の広報・情報公開の強化	7	27%
兼業・兼職のしやすい環境整備	9	35%
その他	3	11%

【７】今回の意見交換会（ワールドカフェ）に参加して、これらのテーマ（定数・報酬・なり手不足）に対するあなたの考えは深まりましたか？		
非常に深まった	3	12%
ある程度深まった	17	65%
あまり深まらなかった	6	23%
全く深まらなかった	0	0%

【８】提示された客観的データやワールドカフェ形式での意見交換は、あなたの理解促進に役立ちましたか？		
非常に役立った	2	8%
ある程度役立った	19	73%
あまり役立たなかった	5	19%
全く役立たなかった	0	0%

【９】今後、市議会は、今回の意見交換会の結果をどのように活かすことを期待しますか？		
活発な議論を行い、具体的な制度改正に結び付けてほしい	9	35%
活発な議論を行い、広報・情報提供を強化してほしい	9	35%
市民の声を聴く場を定期的に設けてほしい	6	23%
特に期待しない	0	0%
その他	2	7%

【10】あなたの年代を教えてください		
10代	0	0%
20代	1	4%
30代	4	15%
40代	6	23%
50代	8	31%
60代	5	19%
70代	2	8%
80代以上	0	0%

【自由記述欄】※一部抜粋

- ・カフェの内容は初めてで中々むずかしかった。市議の仕事を少し見る事ができたのはとても良い体験でした
- ・設問が広すぎて答えづらかった
- ・中学・高校生を巻きこんでの意見交換会をしてもよいのではないかな？
- ・やはり市議会議員という仕事の内容、成果、やりがいをしっかりと伝えていくことが大切かと思いました
- ・様々な意見を聞くことができ今までにない視点を得ることにも繋がったので参加して大変良かった
- ・まずは若者世代に興味を持たせて選挙に行ってもらおう。そのためには広報や情報などをより多く発信して議員個々ではなくSNSの1つのアカウントで色々な活動を発信していく。議員というと市民からしたらお堅い感じがすごくするため少しでもそこを取り除いてもう少し柔らかくポップな感じでも若い世代には興味を持ってもらえる思い簡単な方法だと思います

■WEBアンケートによる回答の集計

【1】現状の議員定数についてどうお考えですか？		
増やすべきである	2	2%
現状維持でよい	9	11%
削減すべきである	74	85%
その他	2	2%

【2】議員定数を変更することで、議会活動や市政にどのような影響があると思いますか？		
議員が増え、より多くの市民の意見が反映されやすくなる	3	3%
議員数が変わっても、議会活動の本質的な変化はない	72	83%
議員が減り、一人あたりの負担が増す	8	9%
その他	4	5%

【3】あなたは現状の議員報酬（月額報酬や期末手当など）についてどうお考えですか？		
増額すべきである	10	12%
現状維持でよい	30	34%
減額すべきである	39	45%
その他	8	9%

【4】議員報酬のあり方として、特に重要視すべき点は何だと思いますか？		
専門性・職務の複雑さに見合った適正な水準であること	9	10%
市民の感覚からかけ離れていない水準であること	55	63%
優秀な人材確保につながる水準であること	18	21%
その他	5	6%

【5】議員のなり手不足の原因として、あなたが最も大きいと考えるものは何ですか？		
活動の多忙さ・拘束時間の長さ	3	4%
報酬が見合っていないこと	8	9%
選挙活動へのハードルの高さ（家族理解、費用、知名度など）	23	26%
議会活動や仕事内容が市民に十分に知らされていないこと	36	41%
その他	17	20%

【6】議員のなり手不足を解消するために、最も優先して取り組むべきだと思うことは何ですか？		
報酬や活動費の見直しによる経済的負担の軽減	6	7%
オンライン化の推進などによる議会活動の効率化・多様化	18	21%
若者や女性など多様な層に向けた議会活動の広報・情報公開の強化	18	21%
兼業・兼職のしやすい環境整備	37	42%
その他	8	9%

【7】今回の動画視聴で、テーマ（定数・報酬・なり手不足）に対するあなたの考えは深まりましたか？		
非常に深まった	5	6%
ある程度深まった	46	53%
あまり深まらなかった	26	30%
全く深まらなかった	10	11%

【８】テーマ説明のプレゼンテーションは、あなたの理解促進に役立ちましたか？		
非常に役立った	5	6%
ある程度役立った	48	55%
あまり役立たなかった	25	29%
全く役立たなかった	9	10%

【９】今後、市議会は、今回の意見交換会の結果をどのように活かすことを期待しますか？		
活発な議論を行い、具体的な制度改正に結び付けてほしい	31	36%
活発な議論を行い、広報・情報提供を強化してほしい	8	9%
市民の声を聴く場を定期的に設けてほしい	27	31%
特に期待しない	16	18%
その他	5	6%

【１０】あなたの年代を教えてください		
10代	0	0%
20代	2	2%
30代	12	14%
40代	15	17%
50代	26	30%
60代	21	24%
70代	10	12%
80代以上	1	1%

【自由記述欄】※一部抜粋

- ・議員の活動が良く理解出来ないこと。今回の意見交換会の動画を見たことで、議員の方々も勉強しておられる事がよくわかりました。議員のなり手不足解消のためには、報酬の増額、兼職のしやすい環境整備が必要と思います。
- ・人口減が進むなか、常に定数は見直していく必要があると考えます。頭数をそろえるだけになってしまうと、議員さんとして十分な役割を果たせるかどうか心配な人になってしまいます。優秀な人材を集めるためには、それなりの報酬は必要と考えます。
- ・議員の数はやや多いと感じますが、単純に減らすだけでは地域の声が届かなくなるおそれもあります。現在の報酬は高すぎる印象で、普通の仕事をしている人が立候補しづらい仕組みになっていると思います。本来は兼業ができるような環境づくりや、オンライン会議などを取り入れて、多様な人が参加できる議会にしてほしいです。

- ・市民の意見を吸い上げるためならば、一律に議員を増やさず、ICT を活用して市民が直接利用可能な仕組みを整備したり、年齢層別の議員数を決めてその範囲で議員を選ぶのが良いと思います。年齢層によらない議員を選ぶならば、あらかじめ解決課題、必要な専門性、交渉先団体などを公開して、それに見合った候補者を採用するのが良いと思います。あるいは議会の場に専門家（コンサル）を招聘してもよいと思います。
- ・議員の人数が減ってもチェック機能として一人当たりの負担が増えるわけではないと思います。市役所の職員は年々減っていると聞いている。議員も減るのが当然のことだと思うが、報酬は増やしても良いと思います。

■市民の皆様のご意見・ご要望について■

この度は、意見交換会にご来場いただき、誠にありがとうございました。お忙しいところ、貴重なお時間を割いていただき、感謝申し上げます。

また、Web アンケートにご回答いただいた方についても、本調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

皆様からいただいた多くのご意見・ご要望については、大変貴重なものであり、今後の議員活動において、参考とさせていただきます。

引き続き、皆様のご意見・ご要望を踏まえ、市民生活の向上のために、議員一丸となって、全力で取り組む所存であります。皆様におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

6. 最後に

岩見沢市議会広報広聴事業
市民との意見交換会を終えて

岩見沢市議会では市民に開かれた議会を目指して、平成２６年度に各常任委員会で行った他都市調査報告会を初開催し、その検証結果を踏まえ、平成２８年度からはより意見交換の要素を強くして開催をいたしました。

令和元年度から令和３年度までは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、市民の皆様と対面での実施ができませんでしたが、コロナ禍を経て令和４年度より対面での開催を再開することが叶いました。

本年は「議員定数・議員報酬・議員のなり手不足解消」をテーマに、共催による初の意見交換会を実施いたしました。議員定数については、令和４年に設置された議員定数等検討委員会におきまして『每期ごとに検討委員会を設置し、検討を行うことが必要である。』とされております。時代の変化に伴い定数や報酬を見直す中で、市民の意見を聴取する機会をとおり、広い視点での互いに理解を深めながら様々なご意見を頂戴することができましたので、今後の市議会としての活動に向けて大きな意義を持つものとなりました。ご参加いただいた皆様におかれましては心より感謝申し上げます。

今後も市民に信頼される議会、より身近な議会の実現に向けて努力し、二元代表制の下、市長をはじめとする執行機関と切磋琢磨して、岩見沢市政の発展に寄与できるように務めてまいります。

ご協力を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

岩見沢市議会議長
峯 泰 教

